

雪舟国際美術協会展について



雪舟「秋冬山水図」拡大レプリカ



「山嶺」と小泉進次郎氏

年末、国立新美術館において開催の「雪舟国際美術協会展」には、六本木という場所柄、外国の方も多数見受けられて、昨年は、小泉進次郎氏(衆議院議員)も来館、真剣な眼差しで各作品を鑑賞されておられました。

横須賀海上保安部の巡視船(機関長)在任中、年始の出動式において小泉氏から慰労と励ましのお言葉を頂いており、その時のお礼を兼ねてご挨拶をさせていただきました。

お忙しい中でのご来館は有難く、元海上保安官の出展にはびっくりされたかもしれませんが、出展の「山嶺(いただき)」前での撮影も快く受けてくださいました。

日本国の山嶺に立たれて、国政の安寧に尽くして頂けますことを祈念しており、可能であれば、今年もご鑑賞を賜わり、一時の安らぎをお取りして頂きたいものです。



「早春の劔岳」(墨、顔彩 P50号 80×117cm)

さて、今年は、劔岳です。

最終氷期に発達した氷河により削り取られた氷食尖峰で、その峻険な山容は訪れる者を圧倒し、登山家からは「岩の殿堂」とも「岩と雪の殿堂」とも呼ばれています。

厳冬期、風雪舞う白銀の世界にも、春の到来の雪解けにより天を突く山嶺等劔岳の雄姿が現れ出てくる。

冬の厳しさも日ごと和らぎ、すそ野には春の到来を告げる彩り、陽光と共に白銀が紅に染まりゆき、瞬く間にプリズムのごとく輝きを増したかと思うと何事もなかったように白んでゆく、時の流れの余韻に浸りながら夜明けの劔岳を眺めつくす。

山の営む情景を忘れえぬように描き残してみた。

リビングに飾り付けて、ブランデーグラス片手にほろ酔い気分で眺める贅沢、楽しみは尽きない。

展示会場には、来場者からの自由なメッセージがカード記入により作家へ届けられるようになっており、貴重なご意見等を頂けましたら今後の糧となり、更なる精進に繋がientと思う次第である。



第32回 雪舟国際美術協会展

2025年12月10日(水)～21日(日) 全11日間開催 ※12月16日(火)は休館日

国立新美術館(1階展示室1C・1D) 午前10時～午後6時 ※最終入場時間 午後5時30分

【主催】一般社団法人 雪舟国際美術協会

【後援】岡山県総社市／岡山県井原市／島根県益田市／島根県益田市教育委員会／山口県防府市／山口県山口市／広島県三原市／中国・中国美術学院／中国・浙江画院／中国・浙江省文化芸術発展有限公司／中国・寧波市藝雲堂文化交流中心

【協力】益田市雪舟顕彰会